



シンボルマークが入ったマスクで「白神ねぎ」をPR

### 「500個の動く広告塔」完成!

「白神ねぎ」20億円販売達成プロジェクト

J Aとねぎ部会は、「白神ねぎ」のマーク入りマスクを500枚作製し、「白神ねぎ」の知名度向上を図ることを目的に、部会員の他に取引青果市場など関係各所に配布しました。同マスクには「白神ねぎ」のシンボルマークと、キャッチフレーズの「しったげうめえ」の文言がプリント。営農部では「生産者の方々には、コロナ禍において感染予防を行いながら、「白神ねぎ」の名をPRしてもらいたい。また、同J A金融窓口や外勤職員にも常日頃から着用してもらうことで、生産者の応援並びに、「白神ねぎ」の動く広告塔としてその名を広く周知してもらいたい。」と話します。



特設コーナーで切り花を買い求める来場者ら



### 帰省自粛のお盆 切り花特設コーナー大盛況

農産物直売所「みょうが館」

みょうが館では8月7日から7日間、「お盆セール」を行いました。コロナ禍により秋田県からは帰省自粛が呼びかけられた異例のお盆であったが、期間中延べ6,016人からお買い上げ頂きました。

特に12日には、墓や仏壇に供えるキキョウや白神リンドウの切り花を買い求めるお客様で、あっという間に駐車場は満車状態に。供花を購入した女性客は「今年のお盆は孫たちが帰って来ないので寂しい夏になったが、ご先祖様には寂しい思いをさせないためにお花をたくさん買った」とコロナ終息を願っている様子でした。

同直売所の平川店長は「県外からの来客者は少なかったが、地域の方々から大勢来店してもらい嬉しかった。今後もより親しまれる店舗作りを心がけたい」と意気込みます。



色鮮やかな切り花が陳列されていました。

### コナガ・アオムシ発生要注意!病害虫防除適切に!!

きゃべつ部会、営農企画課

8月20日に営農企画課大山係長と県山本地域振興局普及課益子技師は4つの調査圃場を設定し、葉の裏側に付着しているモンシロチョウの卵の数や、アオムシの発生状況等を調査する秋冬きゃべつの病害虫発生予察調査を実施しました。益子技師は「調査の結果、各圃場ともアオムシが多く確認された。定植時に散布した殺虫剤の効果が薄れてきているので、コナガ等の幼虫が確認した場合には早めの防除を行ってほしい。」と注意喚起。大山係長も「この時期、白神ねぎの出荷作業で忙しいと思うが、適期防除は怠らないよう注意してほしい。」と話します。残暑が続いていますが、熱中症対策を万全に病害虫防除を徹底しましょう。



一枚一枚葉の裏側を調べました。



大勢のお買い物客で賑わった袋詰め販売

### 「みょうが館」といったら「みょうが」でしょ!

農産物直売所「みょうが館」

9月1日にみょうが館では「みょうがの袋詰め放題」の企画イベントが開催されました。この時期同館での「みょうが」は200g~300gを200円程度販売しているが、300円で最大1kg程度入る袋に5分間の制限時間で詰め放題とあって、大勢の来場者で賑わいました。女性挑戦者(68)にコツを伺うと「まずは袋を伸ばして、縦に詰め込んでいくことかな。後は気合で頑張ります。」と笑顔で答え、イベントを楽しんでいました。みょうが館では毎月1回様々なイベントを企画・開催しており、これからも地域に密着した店舗作りを目指していきます。



玄関先でBBQセットを受取る小学生

### いつもと違うお盆。いつもと同じお盆の味をお届け

生活課

生活課では8月12日、事前に予約受付した「お盆ごちそう材料セット」を各家庭に届けました。今回予約受付し配達した数は昨年より129セット多い640セット。担当職員は「コロナ禍による自粛ムードで、注文件数が少なくなるのではと懸念したが、帰って来れない親族に、毎年恒例の実家の夏の食材を味わって貰おうと、県外への宅配依頼が例年よりも多かった。「お盆ごちそう材料セット」が多くの方々に親しまれていることを実感出来て嬉しい。」と喜びます。次回は「正月ごちそう材料セット」としてセット内容を変更し12月末の販売を計画しています。

### 令和2年度カントリーエレベーター9月15日始動!

能代営農センター

CE担当職員はフレコンバックの点検や乾燥機等CE内のメンテナンス作業を8月に入り一斉に行いました。CE担当の嶋田弘さんは「昨年はフレコンバックの故障や、乾燥機の故障等で利用者さんに迷惑をかけた。今年度は万全な態勢で収穫期を迎えたい。」と全身ホコリで真っ白になりながら話してくれました。8月31日にはCE資材倉庫の2号棟が無事完成し施工業者より引き渡されました。能代営農センター原田昭人係長は「新資材倉庫を有効活用しながら、CE利用者の利便性を下げないようCEを運転していきたい。」と稼働に向けて準備は万端です。

※CE=カントリーエレベーター



CE資材倉庫の完成検査を行う常勤役員

### 夏ネギ出荷最盛期迎える!高校生が就業体験!!

能代営農センター、人事・審査課

8月3日に能代支援学校高等部の男子生徒が、夏ねぎの出荷で最盛期を迎える能代営農センターで、インターンシップ(就業体験)を行いました。施設に運び込まれる白神ねぎの荷下ろし作業やJ A職員とトラックに乗り込み、生産者の各作業舎へ出向いた集荷作業などを全身汗だくになりながら三日間頑張ってくれました。作業体験した生徒は「こんなにたくさんネギが集まるとは思わなかった。荷下ろし作業は重労働だが、体を動かして働く喜びや楽しさを体験できた。」と話してくれました。人事・審査課では「就業先の選択肢の一つとして考えてもらえば」と、今後も学生のインターンシップ等を受け入れることとしております。



規格毎に荷下ろし作業をする男子生徒